



題字 小笠原 孝

## 第25号

平成29年10月1日

発行

一般財団法人  
小笠原アカデミー  
教育振興財団

理事長

小笠原 孝

〈事務局〉

〒040-0016

函館市海岸町9-18

TEL 0138-84-5396

FAX 0138-84-5397



## お世話になる

函館市教育委員会

教育長

辻 俊行

私はこの頃、「お世話になる」という言葉のありがたみを強く感じています。

北海道教育委員会には二十一年間お世話になりました。多くのことを学び経験させていただきました。しかも定年退職まで数年を残して函館市教育委員会に来ることを許していただきました。また、私がかつて勤務していた学校の校長は、私が指導主事になってから(御自身の体調が悪かった数年を除き)二十一年間、私が北海道のどこで勤務していても必ず自家栽培の野菜を送ってくれました。子どもの頃から公私ともにお世話になっていく方からは、私が教育長に就任す

るに当たり、函館の教育史をまとめた本など数冊の本をいただきました。私はこれらの本から多くのことを学び生かしています。

そして今、私は函館市教育委員会に勤務する中で、小笠原アカデミー教育振興財団はじめ様々な団体・個人の高い志と思い、限らない篤志に支えられるなど、函館の教育が多くの方々にお世話になりながら発展してきていることを実感しているのです。

一方、学校に目を向けてみるとどうでしょうか。教職員は、授業はもちろんのこと、休み時間や放課後、家庭における望ましい生活習慣の確立、少年団や部活動など、子

どもたちを取り巻く様々なことについて、外部の方々にあまのお世話にならずに孤軍奮闘取り組んできた方が多いように思います。我が国の学校教育は、教職員一人一人の教科指導や生徒指導に関する高い専門性はもとより、子どもに対する限りない愛情や使命感、責任感により支えられてきたのです。教職員には、自分たちの仕事が一

般の労働者や公務員とは異なる特殊性をもっているとの誇りや矜持があり、仕事の一部を外部の方々へ委ねることについては、つい躊躇してきたのかもしれない。

しかし、今日、学校に求められる対応はますます多様化・複雑化・高度化しており、もはや個人の力量やこれまでの体制では対応することが困難な状況になっていきます。こうした背景もあって、外部の方々と連携協働しながら学校教育の充実に努める(チーム学校)の考え

方が提唱されているほか、地域の方々に支えられる学校運営システムであるコミュニティスクールが導入が進んでいます。

教育委員会としては、教職員がこうした外部の方々に、ためらいなく、しかも気持ちよく「お世話になる」ことができるような仕組みを整えていかなければならないと考えています。

小笠原アカデミー教育振興財団におかれましては、今後におきましても、本市の教育を俯瞰され大所高所から御助言いただくとともに、その改善充実に向けた取組みに御理解、御協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 全国大会初の入賞☆遺愛女子高等学校吹奏楽局!!



全日本高等学校吹奏楽大会で横浜市議会議員(大会2位)に輝き・笑顔の吹奏楽局員たち

### 吹奏楽局 顧問・高久健一

この度は遺愛女子高等学校吹奏楽局の「全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜」の遠征費に際し、過分なる助成金をいただき、心より感謝申し上げます。

おかげさまで、この度の大会において最高賞である「連盟会長賞」を受賞し、その日の大会2位に相当する「横浜市議会議員賞」を受賞することができました。合わせて来年度の同大会への出場権(シード権)も得ることができました。

これもひとえに応援して下さった賞賛のおかげと心より感謝申し上げます。遺愛女子高等学校吹奏楽局は今年度、両館市文化・スポーツ振興財団様より「益田喜朝賞」も受賞することができ、来年度春公演予定の「PとJK」にも出演することができました。

益々、皆様に愛されるバンドに成長するために「愛吹」というニックネームで親しまれるように日々精一杯の活動をしていきたいと思っております。

ぜひ「愛吹ブログ」にて日々の活動を掲載しておりますので、お時間があるときにご覧いただけたら幸いです。

今後とも精一杯頑張りますので、応援のほどよろしくお願いたします。

この度は本当にありがとうございました。

### 吹奏楽局 局長・渡部紗英

遺愛女子高等学校吹奏楽局局長の渡部紗英です。

私たちは11月12日に行われた「全日本高等学校吹奏楽大会in横浜」に北海道代表として出場してきました。この大会に出場するにあたって、一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団様よりたくさんの方の寄付金をいただき心より感謝しております。

私たちは、その感謝の気持ちも込めて、「感謝」の気持ちを込める演奏をしようという強い決心を固め、練習に励みました。その努力が認められ、「連盟会長賞」と同大会2位に当たる「横浜市議会議員賞」を受賞することができました。全国上位に遺愛の名前を刻めたこと、そして応援して下さった皆様に感謝しができたことが私たちにあって、すごく嬉しいことでした。

この大会で得た経験を生かし、更りから愛されるバンド「愛吹」にさらに成長できるよう、一生懸命に活動していきますので、これからも遺愛女子高校吹奏楽局の応援をよろしくお願いたします。

この度はほんとうにありがとうございました。



## 奨学生総数192名に

〈設立当時よりの総数は192名になりました〉

財団法人小笠原アカデミー教育振興財団の奨学金(無利子貸付)制度は、利用される学生を優しく応援し、助ましております。勉学に励み、修学後も努力を重ねられて社会人として責任ある行動を行い、地域社会や国の機関などで活躍されております。さらに、教育や医療・福祉分野にも及んで社会に役立つ存在は、当財団の設立理念に添うものと嬉しく思います。〈理事長〉

◀7月12日・新規奨学生に講話する川内谷理事  
新たな奨学生にガンバレとエールをおくりました。

## 学校図書の充実を目的とする(書籍書架一式贈呈)

### 函館市教育委員会推薦

函館市立亀田中学校 校長 青木 実 二  
函館市立北美原小学校 校長 佐々木 正 幸

### 渡島教育局推薦

北斗市立 谷川小学校 校長 三浦 哲 也  
七飯町立軍川小学校 校長 木村 孝

<平成28年10月12日>北美原小学校にお集まりいただき贈呈式を行い、小笠原理事長より各学校の生徒会代表に目録の贈呈と、有効に活用するよう挨拶がありました。

各学校長と生徒会代表よりは感謝の気持ちを述べられ、文庫は朝読書などで活用しますとお話を頂きました。

来場

函館市教育委員会 北海道教育庁渡島教育局  
贈呈先学校より(生徒会児童会代表)



### 科学の甲子園ジュニア北海道大会出場遠征(2校)に助成

#### ●渡島教育局にて助成と助成金を贈呈

平成28年度の科学の甲子園ジュニア北海道大会に函館地区から、函館ラ・サール学園中学校と附属函館中学校が出場！

○主催 北海道教育委員会 ○開催 平成28年9月11日

目的<中学生に科学の楽しさや面白さ、科学を学ぶ意義を、  
実感させ探求心や創造性に優れた人材を育成する>

○チーム編成(生徒3名)で函館ラ・サール学園中学校2チームが全国大会出場に選ばれる快挙でした。



H28-10-18 函館市教育委員会にて関係者に助成金を贈呈!

### 教育研究大会に助成

○第68回北海道放送教育研究大会

■主管 道南地区放送教育研究協議会

○第62回北海道視聴覚教育研究大会(函館・渡島大会)

■主管 道南情報教育研究会ネットワーク

合同大会 函館・渡島大会(ICT教育研究)H28-11-4

■大会主題 「生きる力」を育み、未来を拓く 豊かな学びの創造  
子どもが生き生きと学ぶアクティブ・ラーニングを目標とした放送・ICT活用

○第45回北海道性教育研究大会(函館・渡島大会)

■主管 函館市・渡島 性教育研究会

■大会主題 「生きる力を育む性教育を目指して」  
友だちとのかわわりを大切にしたい授業の構築を目指して



平成29年度定時総会 2017-6-28 函館新聞社ビル会議室

### 一般財団法人 小笠原アカデミー教育振興財団

平成29年度 役員名簿		評議員名
理 事 長	小笠原 孝	小笠原 正
業務執行理事	小笠原 潔	小笠原 康 正
理 事	小笠原 弘	齊 藤 良 昭
+	野 又 肇	丹 昭 子
+	安 島 進	近 野 功
+	橋 本 守	庄 司 澄 枝
+	川内谷 健三郎	羽根田 茂 信
+	平 野 利 明	小笠原 勇 人
+	竹 内 行 雄	野 村 辰 男
監 事	齊 藤 一 雄	成 田 豊
+	村 田 亮 二	野 口 博 敏



# 一般財団法人 小笠原アカデミー教育振興財団

〔昭和55年設立〕株式会社テーオー小笠原(1950～2017)の創業者、故、小笠原亀吉翁の意志でもあった青少年の育英「地域社会・経済の発展を担う人づくり」を具現化するために、小笠原亀吉翁の遺産の一部を基金として後継者が財団小笠原アカデミー財団を設立いたしました。

初代理事長は、(故、小笠原金悦)二代目理事長は小笠原孝となり、今日まで数多くの学生に奨学金を貸与して参りました。利用された学生達は、修学の上、教育者・指導者の道、又社会の第一線で活躍される道に進んでおられます。

その後、基金の増額として、小笠原孝夫人(故、小笠原幸子)の遺産の一部と、小笠原理事長個人の(株式、持株)の寄贈等によって更なる充実を計りました。平成24年には一般財団小笠原アカデミー教育振興財団に名称を改め、新たに教育機関等への助成金を加えまして、一段と社会貢献に努めております。



理事長 小笠原 孝

## 諸君の可能性を咲かせよう

### 向学心に燃える若人へ奨学金 奨学生の募集要項

#### 【資格】

- ・原則として、道南地方の住民の子女であること。
- ・大学又は大学院、専門学校又は専修学校、高等学校に在学する者。
- ・向学心に富み、かつ修業の見込みがあること。
- ・経済的な理由により、就学困難な事情があること。
- ・将来、国家及び社会に役立つと認められる者。

#### 【貸与額(月額)】

- ・大学又は大学院 25,000円
  - ・専門学校又は専修学校、短大 20,000円
  - ・高等学校 15,000円
- ※奨学金は原則として、6ヶ月分を一括貸与する。(年2回)

#### 【返還】

- ・奨学金の貸与が終了した日から1年を経過した日以後、貸与を受けた年数の3倍の期間内に返還すること。
- ・返還方法は年賦、半年賦、月賦、その他の方法による。

#### 【申込方法】

- ・所定の用紙(在学学校または財団事務局に申請)に必要事項を記載し、必要とされる書類を添付の上、在学学校を通じて申し込む。

申込期間 例年：4月1日～5月末日まで

### 教育の振興機関に助成金 教育機関等への助成要項

#### 【助成対象】

- ・学校等の教育機関及び地域社会の教育の振興に関わる機関。

#### 【助成額】

- ・助成額は1案件につき事業費の50%とし、上限を20万円とする。

#### 【申請書】

- ・申請書の様式は特に問わないが、下記事項を明記のこと。
- 1、事業名称・代表者名
- 2、事業及び費用の概要・収支計画書
- 3、行政からの推薦書(函館市教育委員会・渡島教育局)

#### 【例1】

- 〇小学校〇〇部 全国大会(東京)へ出場が決まりましたので、旅費などの一部を助成していただきたく。

#### 【例2】

- 〇中学校〇〇研究大会開催における費用の一部を助成していただきたく。

#### 【例3】

- 〇教育団体の〇〇教材の充実を計るための費用の一部を助成していただきたく。

申請は随時受付(但し、理事会の承認後の決定となります。)

■詳しいお問い合わせは当財団事務局(連絡先)へ

〒041-0061 函館市海岸町9-18 電話 0138-84-5396